

あしや子ども風土記(第七集)

写真で見る 芦屋今むかし

④

芦屋の今(平成十一年)とむかし(昭和三十年代)の写真を、可能な限り同じ場所から撮影しています。見比べることにより、人々の暮らしがどのように移り変わってきたかを確かめることができます。これからのまちづくり、何らかのヒントになるでしょうか。

阪神高速道路の工事

昭和四十五年の大阪万国博覧会に伴い、阪神間の自動車交通量の激増が予想されたため、昭和四十三年から国道43号の上に高架の阪神高速道路が造られ、昭和四十四年に開通しました。

そして、交通量の問題は一部解消されましたが、騒音や廃棄ガスなどの問題が起って来ました。平成七年一月十七日に起きた阪神・淡路大震災によって道路の一部が傾き壊れましたが、わずか二年で復旧しました。



昭和44年(1969年)



平成10年(1998)



宮川は、打出川とも呼ばれていました。川の長さは約三キロメートルあり、十七の橋が架かっています。その中で、旧西国街道が通っていたところに、「西国橋」があります。



昭和40年代

西国橋

昔は、いろいろな人がこの橋を渡っていたことでしょう。左上の写真をよく見ると、橋の欄干は木で作られています。その向こうには、地藏堂があります。



平成10年(1998)

地藏堂の裏が、まだ田んぼだったころは、「地藏田」と呼ばれていたそうです。近くには、市内で一番目に古い市場「芦屋市場」が、昭和四十年代の中ごろまでありました。



海から芦屋川をさかのぼって第一番目の橋が、「ぬえ塚橋」です。むかし、京の都で「ぬえ」と呼ばれた怪物頭がサル体はタヌキ、手足はトラ、尾はヘビが退治され、芦屋の浜に流れつきました。これを見た村人たちは、たたりを恐れて塚を作り、弔ったといわれています。



大正初期

ぬえ塚橋

この塚は「ぬえ塚」と呼ばれ、橋の名前の由来となっています。現在は、芦屋川に沿ったテニスコートの北側、芦屋公園のなかにぬえ塚がありますが、これは大正



平成10年(1998)

六年に作られたものです。架けられた当時は、この橋の上を、親・子・孫の三代夫婦の揃った家の人が、渡り初めを行いました。



●平成十年に発行した「あしや子ども風土記」写真で見える芦屋今むかし」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

商業登記

- 会社・各種法人・組合などの設立
- 役員の変更
- 商号や目的(事業内容)の変更
- 本店または支店の移転
- 合併や営業譲渡など企業再編
- 有限会社から株式会社へ組織変更

毎月の返済を楽にするための債務整理や払いすぎた利息の返還請求。遺言の作成や信託などの相続税対策、成年後見をはじめ財産管理をお考えの場合にもご相談に応じます。

個人の秘密は厳守いたします。安心してご相談ください。

あずさ司法書士法人

神戸市中央区三宮町3丁目7番10号 協栄ビル4F

TEL.078-958-6070 受付時間/AM10:00~PM7:00

司法書士 山村直子

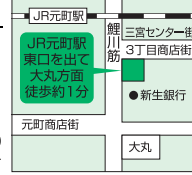
不動産登記

- 不動産の所有者が変わったとき(売買)(相続)(贈与)
- 不動産を担保にしたとき
- 不動産を担保にしている返済が終わったとき
- 不動産所有者が住所や氏名を変更したとき
- 不動産を貸したとき、借りたとき
- 売買の予約や、条件付・期限付で売買、贈与をしたとき

広告



司法書士 山村直子



シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」のバックナンバーは、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。

第1集「伝記・物語」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。